劇場・舞台芸術の力

2017年度よりびわ湖芸術文化財団は、びわ湖ホールと文化産業交流会館の2つの劇場を持つ財団として活動をしています。これを機にスタートしたこのコーナー。劇場に関わるさまざまな方に想いを綴っていただきます。

コロナ禍で感じた芸術の力

公財）サントリー芸術財団音楽事業部長　河野彰子（こうのあきこ）

びわ湖ホール大ホールで距離を確保してびわ湖ホール芸術監督沼尻竜典（現・桂冠芸術監督）の指揮で小学校校歌を録音するびわ湖ホール声楽アンサンブル

世界中を揺るがしたあの新型の流行病も医療でコントロール可能となり、「コロナ禍」はすでに過去の話になりつつあります。しかし、こと音楽界においてあの災禍は、これまでの価値観がひっくり返る天変地異であったことは間違いありません。人が集い、声や音を合わせ、身体で響きを楽しむという「音楽」の特性は、人々を勇気づける力になるどころか、逆に全否定されました。行動制限ガイドラインの規制のもと、渡航演奏家の隔離、「バブル」と言われていた演奏家同士あるいはお客様同士の距離確保、定期的な陰性検査、飛沫防止対策、備品の消毒、公演時間の厳守など、2020年から約3年間、コンサートを開催するためには現場の大変な労力が必要でした。今考えると本当に効果があったのかちょっとむなしくなりますが、あの時はガイドラインを死守することが最善であると信じていました。

そんな禍中の時期にびわ湖ホール声楽アンサンブルは、滋賀県の小学校校歌を録音し学校に進呈されたそうですね。コンサートの開催や既存のやり方にこだわらない見事なアイデアに心底脱帽しました。日本中の劇場・会館にとって、あの時「何を考え」「何をしたか」ということが、現在（いま）の活動につながっていると強く思います。びわ湖ホール声楽アンサンブルが小学生のために「心を込めて」届けたその歌声は、平時に戻った時、みんなにとって価値のある逸品として残ったのではないでしょうか。私も大津市の小学校卒業生として、ぜひとも聴いてみたいです。

アフター・コロナ時代にもびわ湖ホールらしい活動でますます存在感を発揮してください。

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/
びわ湖ホール　検索

チケットInformation

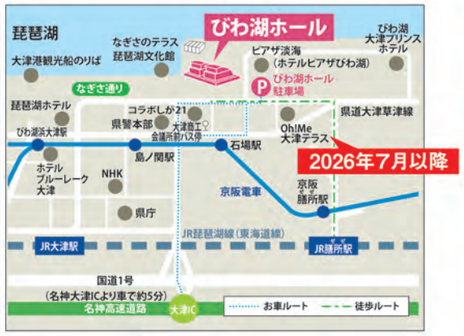
インターネット予約 https://www.biwako-hall.or.jp/

電話予約 チケットセンター
TEL.077（523）7136
10:00～19:00／火曜休館　※休日の場合は翌日。

窓口販売
2階チケットセンター

2026年7月から2028年2月末の休館期間中は、Oh!Me大津テラス内にびわ湖ホールチケットセンターを移転します。（10:00～17:00/火曜休）

※チケット料金は消費税込の価格を表示。　※（　）内は友の会会員料金。　※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳以上入場可。
【シアターメイツ優待公演】シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い（電話・窓口のみ）。



〈アクセス〉
大阪から新快速で約40分、京都から約10分　名古屋から新幹線／京都駅のりかえで約60分
●JR琵琶湖線（東海道本線）「膳所（ぜぜ）」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
●JR琵琶湖線（東海道本線）「大津」駅より徒歩約20分

《駐車場のご案内》有料849台 24時間営業　料金：7:00～23:00　1時間毎210円（4時間経過後1時間毎110円）
23:00～ 7:00　1時間毎110円（時間内最大料金420円）

滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development
〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111　FAX.0749-52-5119　https://www.s-bunsan.jp/
文産　検索

チケットInformation

インターネット予約 https://biwako-arts.tstar.jp
パソコン（座席選択可）、スマートフォン（座席選択不可）から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。（一部公演、席種を除く）

【利用方法】①チケット予約・購入　②チケットの受取（セブンイレブン・ファミリーマート）
※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。

電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。
滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749（52）5111
※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始（12月29日～1月3日）

〈アクセス〉
（電車でお越しの方）
JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分
（お車でお越しの方）
北陸自動車道米原インターより約10分　または　名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場のご案内》360台（無料）

湖響No.108　令和8年3月20日発行　｜発行｜公益財団法人びわ湖芸術文化財団　｜編集｜滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール　TEL.077-523-7133　/　滋賀県立文化産業交流会館　TEL.0749-52-5111

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
BIWAKO HALL
湖響 KOKYO Plus Art Journey えいじゃに
滋賀県立文化産業交流会館
びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌
2026. Spring　NO.108

Contents

オペラへの招待『森は生きている』……P2・3
びわ湖の春 音楽祭 2026 ……P4・5
2026年度ラインアップ発表……P6
びわ湖ホール声楽アンサンブル　Report&News……P7
第2回びわ湖ホールピアノコンクール&
2026年春公演 Pick up!!……P8
びわ湖ホールからのお知らせ……P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より……P10・11
劇場・舞台芸術の力……P12

びわ湖ホール オペラへの招待　レオンカヴァッロ作曲 歌劇『道化師』より
2026年1月公演

びわ湖ホール オペラへの招待

林 光作曲 オペラ 森は生きている

(室内オーケストラ版／日本語上演・日本語字幕付)

12の月のおくりもの

原作:サムイル・マルシャーク　訳:湯浅芳子　台本・作曲:林 光　オーケストレーション:吉川和夫

5月9日(土)・10日(日)

「時」を越えた奇跡の物語!

美しい音楽と台詞で紡がれる心温まる物語「森は生きている」。ロシアの児童文学作家サムイル・マルシャークの名作を原作に、林 光が日本語の台本を制作、作曲した作品です。今回はびわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗の指揮、作曲者・林の薫陶を受けた作曲家でピアニストの寺嶋陸也のピアノでお贈りします。

さらに7月には新国立劇場(東京)でも上演します。

忘れてしまった心の中の「森」を探して

1998年の開館を前に初代芸術監督の若杉 弘氏が構想を語られた「オペラへの招待」の前身の「青少年オペラシリーズ」。初年度はブリテンの『オペラを作ろう～小さな煙突そうじ屋さん』二本目が林 光氏の『森は生きている』そして『ヘンゼルとグレーテル』『魔笛』『ジャンニ・スキッキ』だった。このシリーズを任されたのはびわ湖ホール第二代芸術監督(2024年からは桂冠芸術監督)で現・神奈川フィルの音楽監督の沼尻竜典氏と僕だった。

二本目の『森は生きている』はこんにゃく座の為に書かれた作品で、大時代的なオペラの在り方へのアンチテーゼが根底にはある。かつて新劇の世界で海外の作品～シェークスピア、チェーホフ、イプセンetc.～をとりあげた時、それを揶揄して「赤毛もの」と呼んだ時代があった。同じようにオペラでもプッチーニやヴェルディを日本語訳で、正に赤毛のカツラを被って演じていたオペラへの批判精神がこんにゃく座の原動力。

林 光さんの『森は生きている』の楽譜を広げるのは、その時が初めてだった。シンプルで戸惑うほど、だが楽譜からは溢れる音楽とドラマが香り立っていた。

どのように我々はこの作品に対峙するのか!? 他の4作品の西洋のオペラと同じようにオペラ的に真っ向から挑んだ。ベルカントで朗々と林 光さんのメロディーを歌い上げ、セットも紗幕や映像を組み合わせ、大道具の樹々を動かしてスペクタクルに。若杉氏が青少年に伝えたいオペラとして名を連ねた5本の作品の一本として!

しかし実際の稽古に入ると難しさにも直面した。レチタティーヴォ風のところも、アリア的なところも迂闊にしていると同じように見えるシンプルな楽譜、だがそれを皆で一つずつ見極めながら稽古を進めた。絶えず心の奥には「赤毛もの」にはなってはいけない、現代の我々の心に滑り込んでくるような表現でなければ!と云う思いがあった。

迎えた公演の客席には林 光さん、たくさんのこんにゃく座のメンバーの姿もあった。林さんはニコニコして我々の取り組みに拍手を送ってくださった。

その後、林 光さんの指揮でも公演をすることができ、その時は林さんの弟子とも言える寺嶋陸也さんがピアノを担当してくださった。いまでも林さん寺嶋さんと居酒屋で語り合った時間を懐かしく思い出す。その後、次も林 光さんの指揮でと思っていた矢先、林さんは急逝され、寺嶋さんに指揮を引き受けてもらった。

このプロダクションは代々の声楽アンサンブルのメンバーたちによって再演を重ねメンバーはこの作品で成長し、この作品と共に育った25年を経て、今年、三代目芸術監督、阪 哲朗さんの指揮で、滋賀のびわ湖ホールに続いて東京の新国立劇場でも上演される。

「森」の人を寄せ付けない「力」。その「力」はある時は人間を阻み、最後は人間の弱さをも抱え込んでくれる。「森」への畏敬の念を忘れてはならない。いつの間にか人間が神様になってしまった現代、森から遠く離れた東京の地でもこのメッセージは人々の心に届くことであろう。

作品について語り合う
左より、中村敬一、林 光、寺嶋陸也

中村敬一(演出)

中村敬一

プロフィール

中村敬一(演出)　Nakamura Keiichi

武蔵野音楽大学・同大学院で声楽を専攻、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属し、オペラスタッフとして活躍。文化庁派遣在外研修員としてウィーン国立歌劇場にてオペラ演出を研修、びわ湖ホールでは「オペラへの招待」(旧・青少年オペラ劇場)、「プロデュースオペラ」など多数演出。第23回ジロー・オペラ賞新人賞、2001年大阪舞台奨励賞を受賞。国立音楽大学招聘教授、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。

あらすじ (写真は2023年の公演から)

ある国のおおみそか。
わがままな女王が気まぐれに"おふれ"を出しました。
「かごいっぱいのマツユキ草を新年までに届けた者にはほうびを与える」

ほうびに目がくらんだおっ母さんに言いつけられ、むすめは、冬に咲くはずのないマツユキ草を探しに雪深い森へ出かけます。

そこで出会ったのは12の月の精たち。心の優しいむすめを助け、むすめは無事、マツユキ草を手に入れることが出来ました。

マツユキ草を渡された女王は、廷臣たちが引きとめるのにもかかわらず、自らもマツユキ草を摘むために、むすめの指輪を持って吹雪の森へとソリにのって出かけていきます。
そこで冬の森の厳しい寒さや大変な経験を経て、女王は大切なことを学ぶのでした。

びわ湖ホール「森は生きている」の歩み

青少年オペラ劇場で2000年に初演

〈オペラへの招待〉シリーズの前身である〈青少年オペラ劇場〉シリーズとして、2000年に上演。以来、03年、07年(指揮はいずれも沼尻竜典)、09年(指揮:林 光=写真)、12年、19年(指揮はいずれも寺嶋陸也)、23年(指揮は沼尻)と再演を重ねてきました。作曲家自身による指揮の機会を得るなどびわ湖ホールがずっと大切にしてきたレパートリーです。

2016年度より3か年県内全域プロジェクトで巡演

2016年度から3年をかけて県内全域とラ・フォル・ジュルネTOKYOでも巡演しました。2時間強の作品を1時間程度に凝縮し、各地では合唱や小道具製作など様々な形で地域の方々に参加いただきました。

2019年 作曲者の林 光に薫陶を受けた作曲家・ピアニストの寺嶋陸也が指揮とピアノを担当

この年は初めて、兵庫県立芸術文化センターでも公演を行いました。

2023年 びわ湖ホール芸術監督退任の年に沼尻竜典が指揮

〈青少年オペラ劇場〉でこのプロダクションの初演をてがけた沼尻(現・びわ湖ホール桂冠芸術監督)が、芸術監督の任期最後のオペラ公演として指揮。また、兵庫県立芸術文化センターでも公演を行いました。

スタッフ・キャスト

指　揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
演　出:中村敬一
出　演:びわ湖ホール声楽アンサンブル
ピアノ:寺嶋陸也
管弦楽:日本センチュリー交響楽団
美　術:増田寿子
衣　裳:半田悦子
照　明:山本英明
音　響:小野隆浩(びわ湖ホール)
舞台監督:山中 舞

【キャスト】	9日(土)	10日(日)
1月 総理大臣	大野光星	芳賀拓郎
2月 廷臣		古屋彰久＊
3月 リス・オオカミ・廷臣		宮良真子
4月 カラス・警護隊長	奥本凱哉	福西 仁
5月 ウサギ・もう一人の兵士・大使夫人・廷臣		小田裕香
6月 もう一人の娘・リス・廷臣		山田結香子
7月 むすめ・廷臣	脇阪法子＊	高田瑞希
8月 女官長・オオカミ		柚木玲衣加
9月 おっ母さん・廷臣		森 季子＊
10月 女王	山内由香	小林由佳
11月 兵士		有ヶ谷友輝
12月 博士・古老	佐貫遥斗	市川敏雅＊

＊びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

5月9日(土)・10日(日)
両日14:00開演(16:45終演予定)　[中ホール]

一般6,050(5,500)円　青少年(24歳以下)2,200円
シアターメイツ1,100円　全席指定　チケット発売中

新国立劇場でも公演を行います

『森は生きている』は、新国立劇場(東京都)の「地域招聘オペラ公演2026 びわ湖ホール」としても公演を行います。

びわ湖ホールと新国立劇場は、地域招聘オペラ公演(2013年『三文オペラ』、2017年に『ミカド』の上演)のほか、さらに新国立劇場バレエ団のびわ湖ホール公演や、新国立劇場の『トスカ』にびわ湖ホール声楽アンサンブルが出演するなど、協力関係を築き、2018年には相互の連携・協力に関する協定を締結しています。

全館休館後、初となるこの公演を皮切りに、県内外の様々な会場でびわ湖ホールの芸術を展開していきます。

新国立劇場 地域招聘オペラ公演2026 びわ湖ホール
7月18日(土)・19日(日)
両日14:00開演　新国立劇場 中劇場(東京都)

一般6,600円　青少年(24歳以下)2,750円
〈チケット発売〉
友の会優先発売:4月19日(日)　一般発売:5月6日(水・休)

びわ湖の春 音楽祭2026 ～誘い～

2026年 4月25日(土)・26日(日)

びわ湖ホールの春の風物詩となった音楽祭。阪 哲朗が芸術監督に就任して4年目のテーマは「誘い」です。
今年もびわ湖ホールの全館（大・中・小ホール、メインロビー）を使って、大中小ホールでは有料公演を18公演、無料公演2公演、メインロビーでは無料のロビーコンサートも実施します。また、音楽祭限定メニューやスイーツ、滋賀県の特産品、クラフトビールなどさまざまなお店が出店予定。素敵な音楽とともに多くの楽しみをご用意しています。 3歳以上入場可(25-M-1、26-M-1を除く)

大ホール

大ホールでは、阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）と沖澤のどか（京都市交響楽団常任指揮者）が指揮する京都市交響楽団による3公演、国内外で活躍する京都橘高等学校吹奏楽部と陸上自衛隊中部方面音楽隊が登場。2日間で計5公演を行います。 （各公演の 00-0-0 は公演番号です）

25-L-1 4/25(土)11:00～12:00

〈オープニング・コンサート〉
阪 哲朗（指揮）
ヤスミンカ・スタンチュール（ピアノ）
石橋栄実（ソプラノ）
大西宇宙（バリトン）
京都市交響楽団

©Florian Kimmerich
阪 哲朗

ヤスミンカ・スタンチュール

©Marco Borggreve
大西宇宙

石橋栄実

［曲目］モーツァルト：ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調
モーツァルト：歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より「シャンパンの歌」「お手をどうぞ」、「恋人よ、さあこの薬で」

阪 哲朗の推薦で音楽の都ウィーンから来日するスタンチュールの演奏で開幕。後半は、モーツァルトの名作『ドン・ジョヴァンニ』から、注目の2人の歌唱でお贈りします。

25-L-2
4/25(土)15:15～16:15
沖澤のどか（指揮）
京都市交響楽団

©Felix Broede
沖澤のどか

［曲目］シュニトケ：モーツァルト・ア・ラ・ハイドン
ハイドン：交響曲第45番 嬰ヘ短調 Hob.1：45「告別」

びわ湖ホール初登場の沖澤のどかが、20世紀を代表するロシアの作曲家シュニトケが、ハイドン「告別」交響曲をパロディにした楽しい作品を指揮。

26-L-1
4/26(日)11:00～11:45
京都橘高等学校吹奏楽部
〈マーチングステージ〉

京都橘高等学校吹奏楽部

26-L-2
4/26(日)15:00～15:45
陸上自衛隊
中部方面音楽隊
〈吹奏楽〉 ※入場無料（要整理券）

陸上自衛隊中部方面音楽隊

26-L-3
4/26(日)18:40～20:00
〈ファイナル・コンサート〉
沖澤のどか（指揮）
石橋栄実（スザンナ）、船越亜弥（伯爵夫人）
甲斐栄次郎（フィガロ）、大西宇宙（アルマヴィーヴァ伯爵）
森 季子（ケルビーノ）
びわ湖ホール声楽アンサンブル
京都市交響楽団
山崎バニラ（案内）

甲斐栄次郎

［曲目］
モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』
ハイライト（演奏会形式）

いま、最も注目を集める沖澤のどかは、オペラでも高い評価を受けていますが、今回は名作『フィガロの結婚』のハイライトを国内外で活躍する最高のソリストたちと共演。音楽祭の幕を閉じます。

2026年テーマ「誘い」　阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）

オペラ『ドン・ジョヴァンニ』が描く「誘い」は、人の心を掻り動かし、新たな世界へと踏み出させる力です。プログラムには、聴く人を日常から少し外へと連れ出すような、多彩で魅力的な作品が並びました。地元高校生とびわ湖ホール声楽アンサンブルとの合同合唱や国内外の伝統音楽など、世代やジャンルを越えた様々な「誘い」に満ちた音楽祭。音楽に導かれ、新しい世界との出会いとともに、びわ湖ホールをより身近に感じていただける2日間になることを願っています。

公募でメインビジュアルが決定！

今年は音楽祭のビジュアルを一般公募、41もの応募作品から長友春菜さんの作品が選ばれました。「長く愛されてきたクラシック音楽を象徴する楽器たちと、ランドマークとして親しまれるホールの近代的な外観の2つの主題に、音楽とともに穏やかに流れる時間をイメージして制作しました」との制作意図を寄せていただきました。

中ホール

中ホールでは、音楽祭の目玉公演のひとつ、0歳から入場可能なコンサートを両日開催します。演奏は音楽祭初登場の神戸市室内管弦楽団です。また昨年、阪の提案によって実現し多くの人を感動させた滋賀県高等学校合同合唱団とびわ湖ホール声楽アンサンブルが今年も共演します。そして、2026年2月に第2回を行った「びわ湖ホールピアノコンクール」の受賞者コンサートで、新たな才能に触れる楽しみもあります。

25-M-1 4/25(土)10:00～10:45
0歳児からのコンサート①
神戸市室内管弦楽団
うたと案内：熊谷綾乃
※保護者1名につき、2歳以下のお子さま1名ひざ上無料

［曲目］おもちゃのチャチャチャ
ワルツィング・キャット
アンパンマンメドレー
歌劇『ジャンニ・スキッキ』より“私のお父さん”
交響曲第5番「運命」より第1楽章　ほか

25-M-2 4/25(土)12:30～13:15
第2回びわ湖ホールピアノコンクール受賞者コンサート
井上心晴（A部門(小学生以下)第1位）
矢賀部光夏多（B部門(高校生以下)第2位）
益成一葉（B部門(高校生以下)第2位）
大同理紗（C部門(一般)　第1位）
※入場無料（事前申し込み不要）　※3歳以上入場可。

大同理紗

25-M-3 4/25(土)16:30～17:15
インドへのいざない
石濱匡雄（シタール）、ダヤ・トミコ（南インド古典舞踊バラタナティヤム）
中尾幸介（タブラ）

26-M-1 4/26(日)10:00～10:45
0歳児からのコンサート②
神戸市室内管弦楽団
うたと案内：熊谷綾乃（ソプラノ）
※保護者1名につき、2歳以下のお子さま1名ひざ上無料

［曲目］ミッキーマウスマーチ
ブリンク・ブランク・プルンク、ドレミのうた
歌劇『ジャンニ・スキッキ』より“私のお父さん”
交響曲第5番「運命」より第1楽章　ほか

26-M-2 4/26(日)14:00～14:45
滋賀県高等学校合同合唱団
阪 哲朗（指揮）、森脇 涼（ピアノ）
びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

［曲目］覚 和歌子 詞/三宅悠太 曲：タイムリーバー
谷川俊太郎・詞/三宅悠太 曲：学ぶ　ほか

26-M-3 4/26(日)16:30～17:15
びわ湖ホール四大テノール（清水徹太郎、竹内直紀、古屋彰久、山本康寛）
植松さやか（ピアノ）

チケットの詳細や最新情報については音楽祭特設ページをご覧ください

今年の音楽祭の聴きどころ

特別な意味を持つ「びわ湖の春 音楽祭2026」の聴きどころ　磯島浩彰（ライター）

今年も大型連休最初のお楽しみ「びわ湖の春 音楽祭2026」の幕が開く。今年の音楽祭は特別な意味を持つ。びわ湖ホールは今年7月から2028年2月まで、劇場の大規模改修工事に伴い全館休館となり、現在のびわ湖ホールで行われる最後の音楽祭となるのだ。音楽祭のテーマは、ホールの年間テーマと同じ“誘い”。2026年度のプロデュースオペラ、モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』から連想するキーワードとして選ばれたそうだ。音楽祭の規模としては、2日間で有料公演が18公演（大、中、小ホール）、無料公演が16公演（大、中ホール、メインロビー）と、昨年を上回る規模で行われる。

藤木大地（カウンターテナー）と芸術監督 阪 哲朗の共演や、びわ湖ホール声楽アンサンブルなども出演する無料公演だけでも十分楽しめ、飲食・物販ブースも充実しているので祝祭気分を満喫できるが、せっかくなら公式パンフをフルに活用し、有料公演と無料公演を組み合わせた自分だけの鑑賞プランを作り、音楽三昧の1日を送ってみてはいかがだろうか。演奏時間は休憩無しの45分（大ホールオーケストラ公演は約1時間）。有料公演は1,650円から2,750円（18歳以下は550円から1,650円）と手頃な価格で超一流の音楽を味わう、またとないチャンスなのだ。

音楽祭のオーケストラは京都市交響楽団。オープニング・コンサートは、ウィーンの実力派ピアニスト ヤスミンカ・スタンチュール、石橋栄実（ソプラノ）、大西宇宙（バリトン）をソリストに迎え、芸術監督の阪が京都市交響楽団を相手にモーツァルトのピアノ協奏曲第20番などを指揮する。ファイナル・コンサートには同響の常任指揮者の沖澤のどかが登場し、石橋栄実、大西宇宙、甲斐栄次郎（バリトン）、びわ湖ホール声楽アンサンブルらとモーツァルト『フィガロの結婚』（ハイライト）を演奏会形式で上演する。他にも、沖澤が指揮する京都市交響楽団の公演、京都橘高校吹奏楽部のマーチングや陸上自衛隊中部方面音楽隊を楽しめるのも、大ホールならでは。中ホールでは、神戸市室内管弦楽団が0歳児から入場可能な公演で「お子さまのコンサートデビュー！」をお手伝い。びわ湖ホール声楽アンサンブルと滋賀県高等学校合同合唱団との共演（阪監督が指揮）や、「第2回びわ湖ホールピアノコンクール」の最高位受賞者による演奏、大人気のびわ湖ホール四大テノールの明るい歌声なども聴ける。

例年、完売公演続出の小ホールでは、今年も魅力的な公演が並ぶ。25日には堀米ゆず子（ヴァイオリン）、児玉隼人（トランペット）、藤木大地、びわ湖ホール声楽アンサンブル（寺嶋陸也 指揮）による公演。26日は、ヤスミンカ・スタンチュール（ピアノ）、長谷川将山（尺八）、ゲオルギー・ロマコフ（チェロ）他、甲斐栄次郎、ニキータ・ボリソグレブスキー（ヴァイオリン）による公演と、ジャンルを超えた一流アーティストの公演を楽しめる。この音楽祭は3歳以上の子どもから入場が可能。そしてこの機会に良質の音楽に触れて欲しいと、音楽祭の前後にはびわ湖ホール声楽アンサンブルが出演する関連公演も県内各地で開催される。現在のびわ湖ホールで行われる最後の「びわ湖の春 音楽祭2026」。全てのシーンを記憶に焼き付けたい。

小ホール

■4月25日(土)

25-S-1 10:00～10:45
堀米ゆず子（ヴァイオリン）
［曲目］イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 op.27-5　ほか

©Samori
堀米ゆず子

25-S-2 12:30～13:15
児玉隼人（トランペット）、竹田理琴乃（ピアノ）
［曲目］エスケシュ：舞踏幻想曲、シュミット：3部からなる組曲　ほか

25-S-3 14:15～15:00
藤木大地（カウンターテナー）
［曲目］作者不詳：さくらさくら、山上路夫 詞/村井邦彦 曲：翼をください、玉置浩二：メロディー、松本隆 詞/平井夏美 曲：瑠璃色の地球　ほか

©Yuji Ueno
児玉隼人

25-S-4 16:30～17:15
寺嶋陸也（指揮）、びわ湖ホール声楽アンサンブル
植松さやか（ピアノ）
［曲目］森 哲弥 詩/寺嶋陸也 曲：「年を忘れた少年の歌」より
武満 徹：小さな空、荒井由実：ひこうき雲
宮崎 駿 詞/久石 譲 曲：君をのせて、北原白秋 詞/中山晋平：砂山　ほか

■4月26日(日)

26-S-1 11:00～11:45
甲斐栄次郎（バリトン）、萩原吉樹（ピアノ）
［曲目］モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』より“もう飛ぶまいぞこの蝶々”　ほか

©hiromasa
藤木大地

26-S-2 12:30～13:15
長谷川将山（尺八）
［曲目］初代 山本邦山：雁、藤倉 大：ころころ、J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番　ほか

26-S-3 14:00～14:45
ゲオルギー・ロマコフ（チェロ）、古賀敦子（フルート）、田澤恭子（ピアノ）
［曲目］ブラームス（ロマコフ編曲）：ピアノとチェロのためのソナタ ニ短調 op.108　ほか

26-S-4 15:30～16:15
ヤスミンカ・スタンチュール（ピアノ）
［曲目］ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調 op.31-3　ほか

26-S-5 17:30～18:15
ニキータ・ボリソグレブスキー（ヴァイオリン）
［曲目］イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番、第3番「バラード」　ほか

メインロビー　●入場無料（事前申し込み不要）

音楽祭初日の9時30分からの開会宣言と「びわ湖ホール四大テノール」によるファンファーレで開幕、続いて10人のテノールが出演するオープニングアクト「テノールだよ、全員集合!」を行います。またカウンターテナーの藤木大地と阪 哲朗のピアノという組み合わせも。

びわ湖ホール声楽アンサンブル

他にもチェロのゲオルギー・ロマコフ、甲斐栄次郎、ヤスミンカ・スタンチュールなど、有料公演に出演の演奏家、さらに津軽三味線世界大会で優勝した多田智大、びわ湖ホール声楽アンサンブル、さきらジュニアオーケストラ、日野少年少女合唱団、第2回びわ湖ホールピアノコンクール入賞者など、両日合計14公演を行い、音楽祭を盛り上げます。

Oh! Me 大津テラス 円形広場

【ミニコンサート】
はじめての世界のおんがくコンサート
■4月26日(日)11:30～12:15 ●入場無料（事前申し込み不要）
子どもと一緒に遊びや食事を楽しめる、Oh!Me大津テラス（ショッピングモール）の円形広場で、子育て世代も気軽にリラックスしてアジアの音楽を聴くことができます。
びわ湖芸術文化交流センター（BIWACC/ビワック）企画

ピアザ淡海　Piazza Festa

■4月25日(土)・26日(日)10:00～17:00
びわ湖ホールの東隣のピアザ淡海では、子どもも大人も楽しめるプログラムが満載!
〈主催・お問い合わせ〉ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター
TEL.077-527-3315（9:00～17:00/月曜休館）
FAX.077-527-3319　E-Mail:info@piazza-omi.jp

2026年度

自主事業ラインアップ発表

テーマは〈誘い(いざな)い〉

7月から大規模改修工事で全館休館も

県内外施設公演を含め30事業170公演

2026年度のびわ湖ホールの自主事業ラインアップ発表を1月23日に行いました。

館長の村田和彦、芸術監督の阪 哲朗、総括プロデューサーの村島美也子が出席、〈誘い〉というテーマをもとに30事業170公演を行うことを発表しました。

びわ湖ホールは、2026年7月から28年2月まで大規模改修工事に伴い、全館休館にはいりますが、その間も県内外の施設で、オペラをはじめとした公演を行います。

ラインアップ発表会見より
左より、館長 村田和彦、芸術監督 阪 哲朗

会見の様子／ピンチをチャンスに変えて 来たる30周年を飛躍の年にしたい

会見で、びわ湖ホール芸術監督・阪 哲朗との任期が3年間延長されることを発表。任期は2026年4月から29年3月31日までとなります。

新年度は、改修工事のために7月から滋賀県内や関西圏の劇場などで公演を行う予定です。

館長の村田和彦は、「休館中であっても活動量を落とすことなく、積極的に事業を展開する」と宣言。そして「びわ湖ホールを使うことができないある意味のピンチをチャンスと捉え、びわ湖ホールがこれまで培ってきたノウハウやネットワークを活用し、通常ではできない事業にも挑戦していきます。びわ湖ホールのファンの輪を広げ、2028年に迎える開館30周年を飛躍の年にするようつなげていきたい」と話しました。

＼主な公演／

オペラ

プロデュースオペラ
モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』（全2幕、セミステージ形式、イタリア語上演・日本語字幕付）
2027年1月23日(土)・24日(日)［守山市民ホール(滋賀県守山市) 大ホール］
指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）　ステージング：中村敬一
出演：大西宇宙、池内 響、妻屋秀和、平野 和、並河寿美、中島郁子、青山 貴、石橋栄実
松森 治、迎 肇聡、船越亜弥、伊藤 晴、奥本凱哉、福西 仁、市川敏雅、高田瑞希
合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：京都市交響楽団　共催：公益財団法人守山市文化体育振興事業団

オペラへの招待　（室内オーケストラ版/日本語上演・日本語字幕付）
林 光作曲『森は生きている』
5月9日(土)・10日(日)　［びわ湖ホール 中ホール］
新国立劇場 地域招聘オペラ公演2026 びわ湖ホール
7月18日(土)・19日(日)［新国立劇場 中劇場(東京都)］
指揮：阪 哲朗　演出：中村敬一　出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
ピアノ：寺嶋陸也　管弦楽：日本センチュリー交響楽団

「森は生きている」（2023年の公演より）

オペラへの招待
ニーノ・ロータ作曲『フィレンツェの麦わら帽子』（全4幕・イタリア語上演・日本語字幕付）
2027年3月6日(土)・7日(日)［栗東芸術文化会館さきら(滋賀県栗東市) 大ホール］
指揮：園田隆一郎　演出：中村敬一　出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：日本センチュリー交響楽団
共催：栗東芸術文化会館さきら（指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

オーケストラ

びわ湖ホールジルヴェスター・コンサート2026（守山市民ホール開館40周年記念公演）
12月31日(木)［守山市民ホール(滋賀県守山市) 大ホール］
指揮：阪 哲朗　司会：桂 米團治　管弦楽：大阪交響楽団　独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル
合唱：ジルヴェスター合唱団・ユース合唱団（一般参加）ジルヴェスター・ファンファーレ隊（一般参加）
共催：公益財団法人守山市文化体育振興事業団

びわ湖ホール 子どものための管弦楽教室
守山公演（守山市民ホール開館40周年記念公演）
2027年2月23日(火・祝)［守山市民ホール(滋賀県守山市) 大ホール］ 共催：公益財団法人守山市文化体育振興事業団
彦根公演
2027年3月14日(日)［ひこね市文化プラザ(滋賀県彦根市) グランドホール］
指揮：藤岡幸夫（関西フィルハーモニー管弦楽団 総監督・首席指揮者）　管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
共催：ひこね市文化プラザ（指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

びわ湖ホールピアノコンクール 優勝者コンサート
10月30日(金)［ザ・シンフォニーホール(大阪府大阪市)］
指揮：阪 哲朗 管弦楽：京都市交響楽団
第1回びわ湖ホールピアノコンクール優勝者：牧嶋慧大、辰野 翼、三原有紀、小塩真愛
協力：ザ・シンフォニーホール

声楽

びわ湖ホール四大テノール
2027年2月20日(土)［日野町町民会館わたむきホール虹(滋賀県蒲生郡日野町) 大ホール］
共催：公益財団法人日野町文化振興事業団

室内楽

ゴルトムント弦楽四重奏団
9月5日(土)［草津アミカホール(滋賀県草津市)］

【関連企画】
公開マスタークラス
9月6日(日)［草津アミカホール］
共催：公益財団法人日本室内楽振興財団

音楽祭

「びわ湖の春　音楽祭2026」
4月25日(土)・26日(日)［びわ湖ホール全館］

詳細は、4–5ページ

普及事業

阪 哲朗オペラセミナーⅣ～『コジ・ファン・トゥッテ』
8月20日(木)～24日(月)［ザ・カレッジ・オペラハウス(大阪府堺市)］
講師：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
三ツ石潤司（コレペティトゥア）、西 聡美（ベルリン国立歌劇場コレペティトゥア）
受講者：プロの指揮者、コレペティトゥアを目指す若手音楽家
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル　管弦楽：大阪交響楽団

林 康子 声楽曲研修
10月28日(水)～30日(金)［栗東芸術文化会館さきら(滋賀県栗東市) 小ホール］
講師：林 康子 ピアノ：越知晴子　受講者：びわ湖ホール声楽アンサンブル
共催：栗東芸術文化会館さきら（指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

びわ湖ホール声楽アンサンブル

第83回定期公演　「滋賀ゆかりの歌たち」
6月20日(土)［びわ湖ホール 小ホール］
指揮：本山秀毅（びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者）
［曲目］野呂 昶（詞）千原英喜（曲）：「湖国のあけぼの」 ほか

第84回定期公演（高島公演）「信長貴富の世界」
9月12日(土)［ガリバーホール(滋賀県高島市)］
指揮：本山秀毅、信長貴富　児童合唱：高島少年少女合唱団
［曲目］信長貴富作曲・編曲作品　共催：高島市教育委員会

第85回定期公演（京都公演）「バロッククリスマス」
12月19日(土)［京都府立府民ホール"アルティ"(京都府京都市)］
指揮：本山秀毅　弦楽：古楽器アンサンブル　鍵盤楽器：パブロ・エスカンデ
［曲目］シャルパンティエ：「真夜中のミサ」 ほか
協力：京都府立府民ホール"アルティ"

第86回定期公演（草津公演）「ミュージカル・映画の歌たち」
2027年3月27日(土)［草津クレアホール(滋賀県草津市)］
指揮：大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）
［曲目］映画音楽、ミュージカル作品　共催：公益財団法人草津市コミュニティ事業団

美しい日本の歌
米原公演
7月25日(土)［文化産業交流会館(滋賀県米原市)イベントホール内特設舞台「長栄座」］
主催：文化産業交流会館

草津公演
8月11日(火・祝)
［草津クレアホール(滋賀県草津市)］
共催：公益財団法人草津市コミュニティ事業団
指揮：森脇涼（米原公演）、本山秀毅（草津公演）
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団

声楽アンサンブル 81回定期公演より
（2025年11月）

古典芸能

野村万作・野村萬斎狂言公演
7月30日(木)・31日(金)
［文化産業交流会館(滋賀県米原市)イベントホール内特設舞台「長栄座」］
出演：野村万作・野村萬斎、野村裕基　ほか
連携：文化産業交流会館

びわ湖ホール 声楽アンサンブル

Report & News

Report　オペラへの招待
モーツァルト作曲『劇場支配人』、レオンカヴァッロ作曲『道化師』

2026年1月24日(土)、25日(日)、26日(月)、27日(火)

公演日の1月27日がモーツァルトの生誕270年に当たるということで、上演機会が少ない『劇場支配人』と『道化師』を上演しました。指揮のキンボー・イシイが「この2本を見ると何も準備しなくてもオペラのアウトラインを理解できる」と選んだ、あまり同時に上演されることのない組み合わせです。

『劇場支配人』は、皇帝ヨーゼフ2世によって新作を依頼されたモーツァルトが作曲したジングシュピール（歌芝居）で、劇場の裏話を題材とした芝居と歌からなる30分強の作品です。台本は、演出の中村敬一が作曲当時の時事ネタ満載の脚本を現代の聴衆にわかるように脚色しました。

『道化師』は、イタリアのヴェリズモオペラ（庶民の日常で起こる事柄を扱った台本に基づくオペラ）の傑作で、イシイは「サスペンス・ドラマを見ているような感覚で没入できる」と〈オペラへの招待〉に選んだ理由を明らかにしました。

『道化師』では、最高のカニオ役を一線で演じるベテラン福井 敬とびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーの谷口耕平がそれぞれの持ち味を生かして好演、高い評価を得ました。

『劇場支配人』1月24日の公演から
左よりジルバークラング嬢の高田瑞希、
フォーゲルザングの古屋彰久、ヘルツ夫人の脇阪法子

『道化師』1月24日の公演から
貫禄の演技と歌唱を披露したカニオ役の福井 敬

『道化師』1月25日の公演から
愛憎の暗い情念を見事にぶつけたと評されたカニオ役の谷口耕平＝右、
ネッダ役の山岸裕梨＝左

News　びわ湖ホール声楽アンサンブル 第83回定期公演
「滋賀ゆかりの歌たち」

びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがさまざまなジャンルの声楽曲をお贈りする定期公演。今回は、桂冠指揮者の本山秀毅とともに、滋賀県にゆかりのある曲をお届けします。詩人・野呂 昶（のぶ）による滋賀県の歴史と文化を題材とした「湖国のあけぼの」、2021年にびわ湖ホールが寺嶋陸也に作曲を委嘱した森 哲弥の詩による「年を忘れた少年の歌」、作曲家・若林千春の編曲作品など、滋賀県在住の詩人・作曲家の作品を中心にとりあげます。

7月からの長期休館前の最後のびわ湖ホールでの定期公演です。今年度はびわ湖ホール公演のあと、高島公演（9月）、京都公演（12月）、草津公演（2027年3月）計4回の定期公演を行います。

指揮：本山秀毅（びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者）
ピアノ：植松さやか
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

［曲目］野呂 昶 詩/千原英喜 曲「湖国のあけぼの」
森 哲弥 詩/寺嶋陸也 曲「年を忘れた少年の歌」
若林千春 編曲「琵琶湖周航の歌」
植松さやか 編曲「江州音頭」ほか

6月20日(土) 14:00開演［小ホール］
一般：3,300(2,750)円　青少年(24歳以下)1,650円　チケット発売中

本山秀毅

寺嶋陸也

森 哲弥
1943年、京都生まれ。滋賀県湖南市在住。日本現代詩人会、近江詩人会会員。『幻想思考理科室』（編集工房ノア、2000年）で第51回H氏賞を受賞。

「年を忘れた少年の歌」　寺嶋陸也

（［湖響90］2021年9月発行 より）

2009年に林 光さん指揮の『森は生きている』のピアノを担当して以来、びわ湖ホールでさまざまな機会にピアノの演奏や指揮、編曲などをさせていただき、声楽アンサンブルの皆さんと毎年のように共演してきましたので、新しい合唱曲を作曲する機会をいただいたことをとても嬉しく思っています。

滋賀県の詩人、森 哲弥さんの詩集『少年百科箱日記』からの5つの詩に作曲し、『年を忘れた少年の歌』と名付けました。大きなスケールの時間と空間、そして自然の息吹と生命を、優しくあたたかい言葉で表現した詩に出会えたことはとても幸せなことでした。

芸術監督の沼尻さんとは幼なじみで、中学生の頃まではよく一緒にピアノを弾いたり作曲をしたりして遊びました。この曲のタイトルは同じ詩集のべつの詩からとったものですが、私たちが少年だった頃のことも少し思い出しながら、演奏会を楽しみにしています。

※この作品は当時芸術監督（現・桂冠芸術監督）だった沼尻竜典から「中学生でも歌える作品」ということで委嘱され、2021年の第73回定期公演、米原公演vol.1、東京公演vol.12で沼尻指揮、渡辺浩子のピアノで演奏されました。

Report　ロビーコンサートを行いました

クリスマスロビーコンサート
2025年12月17日(水) メインロビー

恒例となっている「クリスマスロビーコンサート」を11:00～11:30、14:00～14:30の2回行いました。指揮は大川修司、びわ湖ホール声楽アンサンブル、ピアノには小林千夏。プログラムは、クリスマスにちなんだ「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」など、誰もが知っている歌が並び、お客さんと一緒に歌うなど、盛り上がりました。

プロデュースオペラ『トゥーランドット』関連企画
「ピン！パン！ポン！」
2026年1月9日(金)　メインロビー

トゥーランドット姫の国の大臣 ピン・パン・ポンは、特に第2幕では、ユーモアたっぷりの歌と演技で姫やこれまでの婚約者などのうわさ話や望郷の念を歌います。3月8日の公演で同役を演じる迎肇聡（ピン役・バリトン）、福西 仁（パン役・テノール）、奥本凱哉（ポン役・テノール）の3人が、掛川歩美のピアノで"止まれ！何をする？やめろ""おい、パン！おい、ポン！"などオペラで歌われる部分を披露し、公演への期待を高めました。

第2回 びわ湖ホールピアノコンクール開催

「びわ湖ホールピアノコンクール」は、優れた音楽的才能を持つ演奏家を発掘し、びわ湖ホールから発信することを目的に昨年度創設したコンクールです。審査員は、指揮者でびわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗、ピアニストで京都市立芸術大学教授の上野 真、ピアニストで京都女子大学教授の土居知子の3名です。

第1回と同じく、A部門(小学生以下)、B部門(高校生以下)、C部門(一般・年齢不問)に分け実施し、最初の映像審査(令和7年8月1日から31日)には112名の応募があり、同年12月20日、21日に予選、令和8年2月1日に本選を開催、入賞者が決定しました。

入賞者は、4月に開催する「びわ湖の春 音楽祭 2026」をはじめ、びわ湖ホールの自主事業に出演する予定です。

A部門 第1位受賞者

井上心晴(いのうえ こはる)(小学校6年生 京都府)

[本選演奏曲]
サン=サーンス:アレグロ・アパッショナート
ショパン:エチュード 変ト長調 op.10-5「黒鍵」

C部門 第1位受賞者

大同理紗(だいどうりさ)

[プロフィール]
大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻に在学中。現在高木竜馬氏に師事。第19回宝塚ベガ学生ピアノコンクール高校部門第1位、宝塚演奏家連盟特別賞、三宝音楽賞。第33回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門大学生女子の部第2位(1位なし)。第28回松方音楽賞ピアノ部門奨励賞。

[本選演奏曲]
メシアン:「幼子イエスに注ぐ20のまなざし」より
第14番「天使たちのまなざし」
ショスタコーヴィチ:ピアノ・ソナタ 第1番 op.12

A部門(小学生以下)

第1位:井上心晴	小学校6年生	京都府	
第2位:吉田知史	小学校6年生	東京都	
第3位:髙橋俐子	小学校5年生	滋賀県	
入　選:中村仁乃	小学校6年生	滋賀県	
入　選:中村星菜	小学校5年生	広島県	
入　選:城　琳子	小学校5年生	京都府	

B部門(高校生以下)

第1位:該当者なし			
第2位:矢賀部光夏多	高校2年生	福井県	
第2位:益成一葉	高校2年生	広島県	
第3位:木目唯花	高校3年生	京都府	
入　選:中田蒼唯	高校3年生	兵庫県	

C部門(一般=年齢制限なし)

第1位:大同理紗　京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻に在学中。
第2位:後藤雄也　東京藝術大学卒業、名古屋芸術大学大学院音楽研究科在学中。
第3位:原田明里　京都市立芸術大学大学院音楽研究科在学中。
第3位:海老原歩実　東京藝術大学在学中。
入　選:鎌田紗綾　昭和音楽大学ピアノ演奏家コース在学中。
入　選:本荘悠亜　東京大学文学部卒業。桐朋学園大学院ピアノ科修了。
入　選:氏原大貴　東京藝術大学在学中。

同位の場合は本選での演奏順に掲載しています。

審査員 阪 哲朗の全体講評
(びわ湖ホール芸術監督/指揮者)

今回も小学生から大人まで幅広い年齢の方に参加していただきました。

演奏中の皆さんは、表彰式で同じ舞台上で見るよりはるかに大きく見えました。子どもの頃「楽器が上手い人」は、いつ、どこで「音楽家」になるのだろうと普段から考えているのですが、皆さんは既に「音楽家」になっているからこそ大きく見えたのかもしれない、と感じました。

音楽家にとって大事なのは、演奏を通して作曲家や作品の持つメッセージを伝えることです。「ミスをしなければよい」「他の人より上手ければよい」ではなく、作曲家になり代わって自分の感じる作品の良さをお客様に伝える、共有することが重要です。これからも皆さんからどんなメッセージが出てくるのかな、と楽しみに聴かせていただきます。演奏により「感心」するだけでなく「感動」を呼び起こされるような音楽家が、びわ湖ホールから沢山羽ばたいていってほしいと思います。

第1回の受賞者とは色々な事業でご一緒してきましたが、今回の受賞者とも末永くお付き合いしていきたいと思います。ホールという大きな空間を有効に使って、今後も音楽家として成熟していってほしいと願っています。

詳しくはびわ湖ホールホームページで。

びわ湖の春 音楽祭2026 ～誘い～で受賞者・入賞者コンサート開催

4月25日(土) 無料 [中ホール] 12:30～13:15
4月26日(日) 無料 [メインロビー] 17:40～18:20

2026年 春公演 Pick up!!

共催公演
森谷真理&務川慧悟 デュオ・リサイタル

森谷真理

務川慧悟

びわ湖ホールのオペラにも多数出演する日本トップクラスのソプラノ 森谷真理が、言葉と音楽が密接に結びついた「歌」をお届けするコンサート。20世紀を代表する2つの連作歌曲を実力派ピアニスト務川慧悟とともにお届けします。

出演:森谷真理(ソプラノ)、務川慧悟(ピアノ)
[曲目] ヒンデミット:「マリアの生涯」op.27(1948年版)
メシアン:「地と天の歌」

5月24日(日) 14:00開演 [小ホール]
一般6,000円　青少年(24歳以下)3,000円
(主催:フォレストヴァリー)　チケット発売中

びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう!(一般公演)

びわ湖ホール芸術監督・阪 哲朗が指揮する名曲揃いの1時間。家族で楽しめる大編成のオーケストラコンサートです。巨大スクリーンに画像つきの解説や演奏者の姿を映し出すなど、コンサートを楽しめる仕掛けが盛りだくさん!

指揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
管弦楽:京都市交響楽団
独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル
脚本・構成:中村敬一
[曲目] 大野克夫:「名探偵コナン」よりメインテーマ
ブラームス:ハンガリー舞曲 第5番
久石 譲:「魔女の宅急便」より"海の見える街"
ワーグナー:楽劇「ワルキューレ」より"ワルキューレの騎行"
デンツァ:フニクリ・フニクラ
ロジャース:「サウンド・オブ・ミュージック」より"ドレミの歌"
〈みんなで歌おう♪〉村井邦彦:翼をください
シルヴェストリ:パック・トゥ・ザ・フューチャー

5月30日(土) 14:00開演 [大ホール]
大人1,650円　子ども(小学生・中学生)550円
友の会優先発売:4月2日(木)　一般発売:4月4日(土)

びわ湖ホールからのお知らせ

「びわ湖ホール友の会」会員募集中

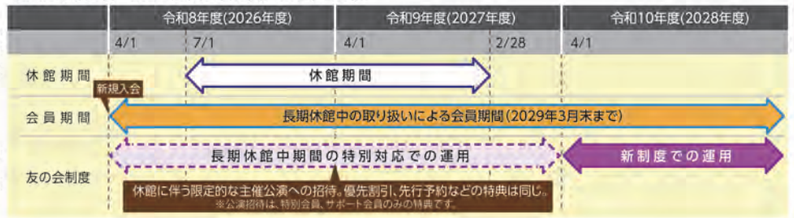
友の会制度の取り扱いについて

休館中のびわ湖ホール友の会の会員期間と特典については、下記の取り扱いとさせていただきますので、ご案内申し上げます。今後も変わらぬお引き立てを賜りますと幸いです。

●新規入会について

2026年4月1日～2028年3月31日までに新規ご入会(ご入金)いただいた場合、会員期間を延長し、会員期限を一律、令和11年(2029年)3月末までとさせていただきます。

◇2026年4月1日～2028年3月31日に入会した場合の例



特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援してくださる企業・個人様向けの会員制度です。

詳しくはホームページをご覧ください。

□主催公演へのご招待　□チケット優先予約・無料郵送　□情報誌やホームページへの会員名掲載　など

年会費　一口の場合100,000円(税込)　入会金不要　<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部　TEL.077-523-7140

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費　一口の場合10,000円(税込)
<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

年会費　2,500円(税込)
<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

《特別会員》のみなさま

合同会社あさぎり/アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/株式会社アルファス/一圓テクノス株式会社/いなみ矯正歯科/岩佐益男/上原恵美/宇高節子/エアスペンサー株式会社/株式会社栄光社/NTT西日本株式会社滋賀支店/近江工業株式会社/近江鍛工株式会社/大岸 実/大谷 巌公認会計士事務所/大津商工会議所/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/小倉美佐子/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/河津恵子/株式会社関西みらい銀行/北村クリニック/株式会社 木の家専門店 谷口工務店/木村水産株式会社/錦職昭彦/株式会社きんでん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/granlumieグランルミエ/KKゴルフクラブ/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/小高得央/株式会社コングレ/株式会社笹川組/株式会社佐藤総合計画関西オフィス/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀県信用保証協会/株式会社自然総研/株式会社清水屋呉服店/株式会社十字屋/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和パルプ製作所/株式会社JOJI STABLE/スカイ カナダ留学/株式会社スマイディア/学校法人純美禮学園/成安造形大学/瀬田医院/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/大和証券株式会社京都支店/高坂哲夫/タカヒサ不動産株式会社/高谷トマト/ちばレディースクリニック/塚本社会保険労務士事務所/株式会社ツジトミ/株式会社DGコミュニケーションズ/寺田健治/株式会社天下一品/トヨタモビリティ滋賀株式会社レクサス大津/鳥越久里/中川道子/西川 望/日新薬品工業株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/野村證券株式会社大津支店/羽泉正浩/パウ・クリエイト株式会社/公益財団法人ハン六文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/日野精機株式会社/株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわ湖放送株式会社/ふくた診療所/藤井絢子/兵神装備株式会社滋賀事業所/ホテルブルーレーク大津/株式会社ホリゾン/増山公昭/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/宮川印刷株式会社/music square 芝蘭会/村上孝弘/望田法律事務所/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/山本英司/税理士法人山本会計/ヤンマーホールディングス株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館守山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール/和田厚幸/渡辺朗夫

(五十音順・敬称略・一部非掲載/2026年3月1日現在)

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社 叶 匠寿庵

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社平和堂

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:東レエンジニアリング株式会社

シアターメイツ会員募集中

6歳～18歳なら誰でも入会可!　年会費無料

シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を楽しんでいただく会員制度です。シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の約半額でお楽しみいただけます。舞台芸術を"生"で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ!

さくら印の公演はシアターメイツ優待公演です。

ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。

びわ湖ホール 舞台芸術基金

～舞台芸術へのご寄付をお待ちしています～

皆さまから頂戴したご寄付は、基金として大切にお預かりし、3種類の事業に活用してまいります(ご寄付の際にお選びいただけます)。

<お問い合わせ>
びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部
TEL.077-523-7140

詳しくはホームページをご覧ください。

滋賀県立文化産業交流会館
Art journey
えいじゃに

※Art journeyからネーミングした「えいじゃに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

和のじかん －教室に邦楽演奏家がやってくる！

和楽器弦の産地・湖北に位置する当館では、令和3年度より学校訪問を通じて邦楽の魅力を伝えてきました。学習指導要領での邦楽必修化を受け、教育現場からの期待も高まっています。「和のじかん」は、邦楽演奏家が教室を訪ね、間近で響きを届けます。子どもたちと語らい、楽器にも触れられる当館ならではの特別プロジェクトです。本年度は、14校を訪ねます。

「和のじかん」の様子

令和8年度に訪問するのは、次の14校です！

4組の邦楽演奏家が、琵琶湖の東西南北県内の小中学校を訪問します。どうぞお楽しみに！

①大津市立葛川中学校
②大津市立田上中学校
③大津市立雄琴小学校
④彦根市立佐和山小学校
⑤彦根市立稲枝西小学校
⑥長浜市立高月小学校
⑦栗東市立大宝東小学校
⑧栗東市立葉山小学校
⑨甲賀市立甲南中部小学校
⑩野洲市立中主小学校
⑪湖南市立三雲東小学校
⑫湖南市立菩提寺小学校
⑬高島市立マキノ中学校
⑭豊郷町立豊郷小学校

邦楽演奏家のご紹介

片岡リサ（箏）

演奏家からのコメント

「和のじかん」は子どもたちに生の邦楽の音を聴いてもらえる貴重な機会です。この直接出会うという一期一会の経験が、邦楽を聴いてみようという次の機会につながると思っています。私も小学3年生の時から箏を始めました。近い年齢の子どもたちに、私の経験を話すことで、箏という楽器を身近に感じてもらえるのではないかと期待しています。

大阪音楽大学邦楽専攻特任教授。国内外で様々なコンサートを開催、洋楽器や他ジャンルとのコラボレーションも多数。当館の「ぶんさん箏曲アンサンブル」、「邦楽専門実演家養成事業」講師も務める。

吉澤延隆（箏）

吉澤延隆箏曲研究所代表。国内外でのコンサートだけでなく、J-TRAD Ensemble MAHOROBAの一員として、多彩な活躍。当館の「邦楽専門実演家養成事業」講師も務める。

ゆらぎ（箏:伊藤志野　尺八:岩本みち子）

京都三曲協会会員。関西を中心に演奏活動やワークショップを行う。箏と尺八のユニット「ゆらぎ」。

橋本桂子（箏）＆饗庭凱山（尺八）

大阪音楽大学邦楽専攻卒のコンビ。2人とも、当館の「邦楽専門実演家養成事業」などにも参加。本年度から「和のじかん」の邦楽演奏家としてデビュー。

橋本桂子

饗庭凱山

世界初演！藤原道山委嘱作品「HAGOROMO～波己呂毛～」、池上眞吾委嘱作品「音のいぶき」

両方の楽曲とも、当館の貴重な財産として再演していきます

藤原道山作曲「HAGOROMO～波己呂毛～」

1/12(月・祝)に開催した「北にきゃんせ音楽会」にて、余呉の羽衣伝説を題材とした藤原道山への委嘱作品「HAGOROMO～波己呂毛～」を世界初演しました。藤原道山が、湖北を旅した際、車窓からふと目に飛び込んできた静謐な風景が出発点となり、今回の作品に結晶化しました。立ち合い稽古では、「ここのメロディは、雲が晴れて陽がさすように」「ここは羽衣を返してください、とすがるように」と、余呉の羽衣伝説を読み込んだ指示を出していました。また題名もアルファベットと万葉仮名の表記で表現され、新鮮な雰囲気も漂います。

「HAGOROMO～波己呂毛～」

藤原道山

池上眞吾作曲「音のいぶき」

2/8(日)の「邦楽専門実演家養成事業」演奏会では、この事業のテーマ曲として、当事業の講師を務める池上眞吾に委嘱した楽曲を初披露しました。せっかくの機会なので、曲名を観客の皆様に投票いただくことにしました。「①湖声ー未来へ」「②音のいぶき」「③綺羅の風」「④共鳴の色彩」の4案からお客様に1つ選んでいただき、「音のいぶき」に決定しました。この「音のいぶき」には、息吹と当館から見える伊吹山の二つの意味が込められています。

「音のいぶき」

令和8年度、ラインアップ発表を行いました

当館は、県北部唯一の県立文化施設として、地域や施設の特性を生かした多彩な自主事業を展開し、北部地域の振興に努めています。
今回の発表では、古典芸能「長栄座」事業（15周年）の中から、地域資源を生かした「湖北百景」公演、子どもたちが互いを認め合い創り上げるミュージカル（10周年）、そして、誰もが気軽に楽しめる「0歳児からのコンサート」（5周年）を中心に紹介しました。

（左より）俳優・演出家：大塚宣幸、館長：竹村憲男、指揮者：米田覚士

登壇者のコメント

大塚宣幸（おおつか のりゆき）〈俳優・演出家/ユースシアター事業 作・演出〉

僕のキャリアも25年前の市民ミュージカルから始まったので、文化産業交流会館の青少年による「ユースシアター事業」に関われることを嬉しく思っています。若い人たちのエネルギーを活かして、湖北を題材とした史実とフィクションが混じったような作品を作りたいと考えています。僕自身が、演劇やミュージカルに活力を得てきたので、ご覧になる人にもそういうきっかけになるような作品をめざしたいです。
今年は、「ユースシアター事業」の10周年の節目です。どんな方々が参加してくださるのか、今から楽しみです。

米田覚士（よねだ さとし）〈指揮者/第59回ブザンソン国際若手指揮者コンクール優勝〉

「ぶんさん0歳児からのコンサート　ぱふぉーまんすと楽しむおーけすとら」の指揮をしています。毎年11月23日を2（ぶん）3（さん）の日だと思い、親しみを感じていますし、米原に来ると、空も道も広いし、お客様もあたたかくてホッとします。オケは耳で楽しむものですが、パフォーマンスと共演することで目でも楽しめて、子どもから大人まで会場中を巻き込んで一体になれるのが、このコンサートの魅力だと思います。他では実現できない、“ぶんさん”ならではオリジナル企画なので、他の指揮者に取られるのはジェラシーを感じるくらい好きな事業です。

文産会館の春のオススメ公演

びわ湖ホール声楽アンサンブル「ぶんさんスプリングコンサート」

春の訪れを音楽で感じていただく「びわ湖の春　音楽祭」の米原公演。今回の公演では、声楽アンサンブルを卒業して多彩に活躍するソロ登録メンバー8人が一堂に会します。ロッシーニ作曲の軽快な歌曲や、モーツァルト作曲「魔笛」の中の著名なアリア「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」など、プログラムもバラエティ豊かです。日常の喧騒を忘れて、声楽の魅力を身近に感じられる貴重な時間を、どうぞお楽しみください。

日時　4月19日(日) 16:00開演
会場　滋賀県立文化産業交流会館 新江州シアター（小劇場）
料金　一般2,000円
青少年（24歳以下）1,000円
＊6歳以上入場可
指定席　好評発売中
お問合せ　滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749-52-5111

昨年の公演の様子

びわ湖芸術文化交流センター（BiWACC）情報

地域創造部は、4月1日より新たに「びわ湖芸術文化交流センター（Biwako Arts & Communication Center）」、通称“BiWACC（ビワック）”として活動します。

BiWACC
びわ湖芸術文化交流センター

◆4月からホームページをリニューアルします。県内の創作発表場所や助成金情報の検索ができるようになります。

地域の芸術文化活動のパートナーとして

誰もが集い、語り合い、共感しながら、新しい発想や表現が生まれる場をひらきます

表現者、鑑賞者、担い手それぞれと関わりながら、滋賀らしい芸術文化を育みます

地域の魅力や多彩な才能をつなぎ合わせ、新しい価値や芸術が生まれる土壌をつくります

びわ湖芸術文化交流センター(Biwako Arts & Communication Center/BiWACC)は、公益財団法人びわ湖芸術文化財団法人本部地域創造部が運営します。滋賀県内で芸術文化活動をしている方、芸術文化活動を応援したい方、芸術文化活動に参加したい方、それぞれの立場の皆様に、つながる“場”や“きっかけ”を提供していくよう努めてまいります。

しがアートコラボレーション事業

第6回能楽を楽しむ「能装束着付実演と能『葵上』」

古くから近江猿楽の歴史ある滋賀で、能楽文化の活性化を目指すプロジェクト。
今回は『源氏物語』の名作、能「葵上」を上演。あわせて、装束の着付実演や「夏休み子ども向けワークショップ」などの関連企画も！

日時　6月23日(火) 13:15開演
会場　能登川コミュニティセンター（東近江市躰光寺262番地）
出演　能楽師観世流シテ方 田茂井廣道ほか
料金　一般　2,500円
22歳以下1,000円
お問合せ　0748-42-0002（滋賀能楽文化を育てる会）
協働主催：滋賀能楽文化を育てる会

第五回 能楽を楽しむ 能装束着付実演と能「田村」公演より

季刊誌 湖国と文化　第195・春号
特集 安土城を追う

450年前、信長が築城を開始、わずか10年で廃城となった安土城。実像に迫ろうと、わずかな資料をもとに、85年を超す発掘調査・多くの研究が積み重ねられてきました。安土城と信長の研究の歩みと「今」を伝えます。

2026年4月1日発売予定
＜販売価格＞ 770円(税込)
＜取り扱い＞ 県内書店、公式オンラインショップ、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
＜お問合せ・購入申込＞
びわ湖芸術文化交流センター
「湖国と文化」編集室
TEL.077-523-7146

「湖国と文化」195号